



「未来につなごう 地域茶の間」

記録を更新する残暑や台風が気が沈みそうになります。こういう時こそ「なにくそ負けてたまるか」と、皆様と共に元氣を出したいと思います。

本年七月に、四代目社長、えにし屋主宰の清水義晴が永眠しました。十八年前、講演中に脳内出血で倒れ、九死に一生を得た後、地域の茶の間創始者の河田珪子さんと「新潟市を日本一の福祉都市にしよう」と誓い合い、その言葉を心の支えとし最後まで精一杯生きました。今回は故人の最後の作品であり、最後のまちづくりとなった地域共生絵本「未来につなごう 地域の

茶の間」の表紙イラストを紹介します。

この絵本は新潟発の地域の茶の間の活動実績を残し、未来への遺産として後世の人達に受け継ぎたいと故人が願い、発刊に至ったものです。弊社イラストレーター大越理恵が地域の茶の間の精神が虹と共に未来へつながっていくようお願いを込めて描きました。皆様の益々元氣なご活躍を心より祈念しております。



博進堂

□本社・工場
〒950-0807
新潟市東区木工新町378-2
TEL.025-274-7755
FAX.025-274-7679

□本社営業
□札幌営業所
□C&A営業
□アートメール係



がんばろう！



株式会社博進堂
<https://www.hakushindo.jp>

Art Factory & Printing Art.
School Album Produce,
Communication Design.

●事業内容
学校アルバム・記念誌・写真集・学校案内
自費出版・各種アルバム・PR誌・社内報
CI・会社案内・社史・カタログ・パンフレット・ポスター
まちづくり計画・事業概要・周年誌
ワークショップ・問題解決学・教育セミナー
ホームページ作成・デジタルサポート・システム開発
お気軽にご相談下さい。

博進堂
創業大正10年
代表取締役社長
清水伸



未来につなごう

地域の 茶の間

新潟市を日本一の 福祉都市にしよう

清水義晴

(しみず よしはる)

一九四九年新潟市生まれ。父親（二代目社長）の急逝により二十六歳で㈱博進堂の取締役となり、「人間尊重」の企業のあり方を模索し企業改革を進める。一九八四年に「点塾」を設立し、「教えない教育」をコンセプトに共有プログラムを開発。三十八歳で経営をバトンタッチし、現代美術の「創庫美術館・点」の運営に携わった後「えにし屋」を設立し全国のまちづくりに貢献。二〇〇六年和歌山での講演中に脳内出血で倒れ車椅子の生活に入る。これまでの実績が映画「降りてゆく生き方」（二〇〇九年公開武田鉄矢主演）の関係者の目にとまり、ストーリーのベースになると共に、映画出演も果たす。二〇二四年七月二十八日永眠。

大越理恵

(おおごし りえ・イラストレーター)

㈱博進堂(制作部)

学校アルバムのイラスト集をはじめ、商業印刷やウェブサイトのイラストを担当。デジタル機能を駆使した新しい表現を探究し、オーダーに応じてさまざまなタッチのイラストを描く。人柄が表れる温かな表現が、多くの方を魅了している。